樹脂管パイプサポート２　取扱説明書

■ はじめに

樹脂管パイプサポート２をご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、十分理解した上で、正しくお使いください。

品名	品番
樹脂管パイプサポート２	JPS-2

この取扱説明書は、樹脂管パイプサポート２を安全にお使い頂き、あなたや他の人々への危害と財産への損害を未然に防ぐために守って頂きたい事項が、記載されております。

お読みになった後は、樹脂管パイプサポート２をご使用される方が、いつでもお読みになれるように、保管しておいてください。

わかり易くするための表示と図記号の意味は、次のようになっていますので内容をよく理解してからお読みください。

⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的傷害の発生が想定される内容を示しております。

なお、「⚠注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。

いずれも、安全に関する重要な事項が記載されていますので、必ずお守りください。

■ 使用目的

①主としてポリエチレン管、塩化ビニル管など樹脂製の管の切断、スクレープ、面取りなどの時に、管を支えるための工具です。樹脂管バイス(別売、品番:JPV)、樹脂管バイススタンド(ショート)（別売、品番:PVS-S）と共にご使用ください。

■ 使用対象管

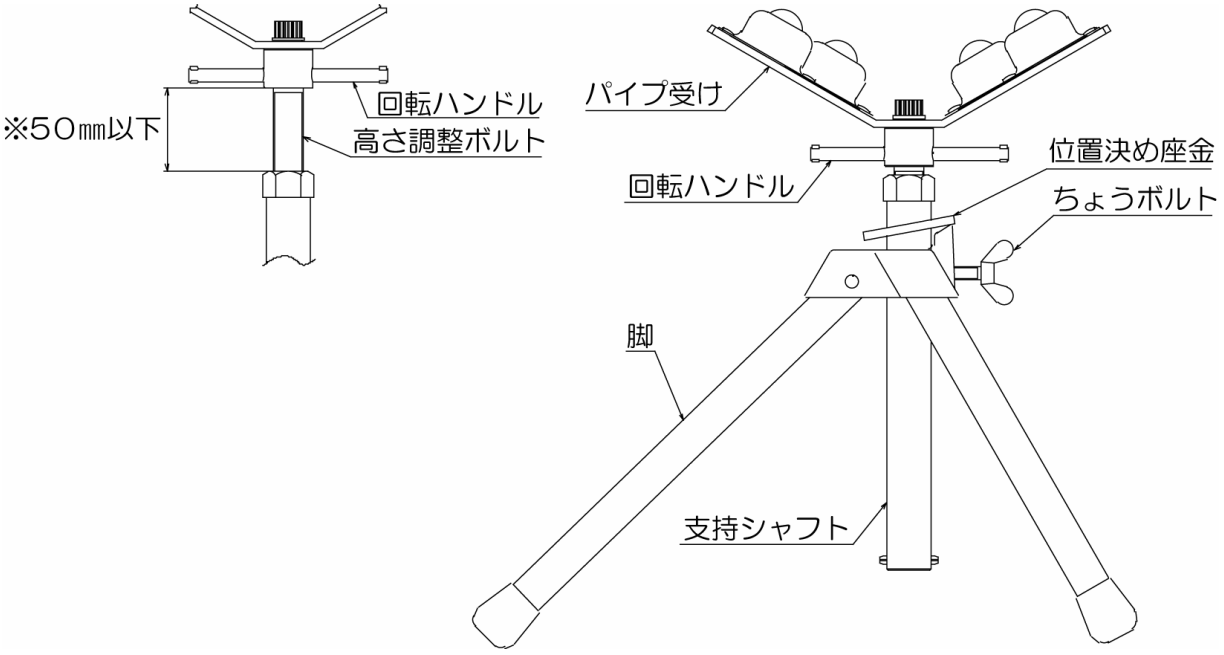
①管の種類

ポリエチレン管、塩化ビニル管 など樹脂製の管

②管の呼びサイズ

樹脂管	ＩＳＯ：呼び７５（φ90㎜）～呼び２５０（φ315㎜）	管の質量100kg以下
	ＪＩＳ：呼び７５（φ89㎜）～呼び３００（φ318㎜）	管の質量100kg以下

■ 各部の名称



※「高さ調整ボルト」はねじの出代50㎜以下の範囲で使用してください。

■ 安全上のご注意

⚠ 注 意
①この取扱説明書に記載された使用目的・仕様の範囲で使用してください。使用対象管以外の鋼管などにご使用になりますと､支えきれず工具が破損･転倒する場合があります。 ②工具を設置する時は、地面(床面)が丈夫で平らな場所を選んでください。不安定な場所では工具が転倒する場合があります。 ③工具各部の損傷や変形、ボルトの緩みがないか常に点検し、損傷や変形、緩みがあれば修理または増し締めを行ってから使用してください。 ④「高さ調整ボルト」はねじの出代50㎜以下の範囲で使用してください。50㎜以上に延ばすと、「高さ調整ボルト」が外れ「パイプ受け」が脱落します。 ⑤「パイプ受け」は「位置決め座金」を水平にすることにより自重で降下しますので、「位置決め座金」を操作する場合は、必ず「パイプ受け」を手で支えてください。 ⑥管を積載した状態では、高さ調整を行わないでください。誤って手指などを挟む恐れがあります。

■ 作業の前に

①工具各部の損傷やボルトが緩んでいないか点検し、緩みがあれば増し締めを行ってください。

②点検の結果、各部の損傷など見つかった場合は、お買い求めの販売店などに修理をご依頼ください。

■ 使用方法

①パイプサポートの「脚」を広げ、安定した地面に置いてください。

②「ちょうボルト」を緩め、「パイプ受け」を持って適度な高さまで上げてください。

※適度な高さで「位置決め座金」を「支持シャフト」に噛み込ませて「パイプ受け」を固定します。

③「パイプ受け」を下げる場合は、「パイプ受け」を手で支えながら「位置決め座金」を水平にして下げてください。

※「位置決め座金」を操作する場合は、必ず「パイプ受け」を手で支えてください。

※管を積載した状態では、高さ調整を行わないでください。

④管を載せる前に、「位置決め座金」が確実に噛み込んだ状態であることを確認し「ちょうボルト」を締めてください。

※「位置決め座金」が噛み込んでいない状態で、「ちょうボルト」を締め付けただけでは管を載せた際に「パイプ受け」が降下しますので注意してください。

⑤管を載せた後に高さを微調整する場合は、「回転ハンドル」を回して行ってください。

※高さの微調整は、「高さ調整ボルト」のねじの出代50㎜以下の範囲で行ってください。50㎜以上延ばすと「高さ調整ボルト」が外れ「パイプ受け」が脱落しますので注意してください。

株式会社 MCCコーポレーション
株式会社 松阪鉄工所
☎(059)234-2454
http://www.mcccorp.co.jp